

コンゴ(民)月例報告  
政治関連  
2018年11月

**主な出来事**

- 3日、与党プラットフォーム「FCC」は、48の部門から構成される選挙対策本部役員及びスタッフを発表し、主な閣僚及び公共企業の幹部を含む、500名以上が任命された。
- 8日、中央カサイ州ルエボ地区で、森に集結していた約60名のカムウィナ・ンサブを標榜する民兵に対する軍事作戦が行われ、民兵17名の死亡が確認された。
- 9日-11日、コフィ・アナン財団のアラン・ドス理事長の調停のもとジュネーブで行われた当地主要野党7党首の会合で、マルタン・ファユル ECiDe 党首を野党統一候補に選出する等の「ジュネーブ合意」が署名された。
- 12日、フェリックス・チセケディ UDPS 党首及びカメレ UNC 党首は、「ジュネーブ合意」の署名を撤回すると発表した。ファユル統一候補への支持も撤回した。
- 15日、国連はコミュニケで、北キブ州ベニ地区での MONUSCO と FARDC の対 ADF 合同軍事作戦で14日、8名の PKO 兵士(マラウイ国籍7名、タンザニア国籍1名)が死亡、12名が負傷、また、FARDC 兵士12名も死亡したと発表した。
- 23日、フェリックス・チセケディ UDPS 党首とカメレ UNC 党首はナイロビで記者会見を行い、カメレ党首は、今回の大統領選挙でフェリックス・チセケディ候補を支持するため、自身の立候補を取り下げる決定をしたと発表した。両者の合意により、今回の選挙ではカメレ党首が選挙対策本部長を務め、5年後の選挙ではカメレ党首が統一候補となる。
- 24日、当地米大使館は、キンシャサにおける、同国関連施設に対するテロの可能性に関する情報を入手したと発表、26日以降、同国大使館の窓口業務を閉鎖した。
- 30日、コンゴ(民)政府は、同国東部で DDR プログラムをうけていた元 FDLR 兵士とその家族のルワンダ送還が完了したと発表した。

**1. 内政**

**(1) 与党プラットフォーム「FCC」/ラマザニ・シャダリ大統領候補(PPRD 常任書記)の動向  
ア 「FCC」の選挙キャンペーンスタッフの発表**

・3日、与党プラットフォーム「FCC(Front Commun du Congo, コンゴ統一戦線)」は、選挙対策本部役員及びスタッフを発表した。同本部は、15名のメンバーからなる48の部門で構成され、主な閣僚及び公共企業の幹部を含む、500名以上が任命された。

**イ ラマザニ・シャダリ候補の政策発表**

・19日、ラマザニ・シャダリ候補は、5年間で860億ドルの国家開発計画を発表した。同開発計画は、国家機関の強化、経済の多様化及び雇用の保証、貧困対策、公共サービスへのアクセスの4つの柱で構成されている。

**ウ 通常国会の早期閉会**

・22日、同日からの選挙キャンペーン開始をうけ、通常12月15日までの会期の国会が閉会した。

**エ ルブンバシ市での集会**

・26日、ラマザニ・シャダリ PPRD 常任書記はルブンバシ市で集会を行い、自身の選挙キャンペーンを開始した。

### (2) SADC による選挙支援の動き

・5日、SADC の選挙諮問評議会(SEAC)とシェ・オキトウンドウ副首相兼外務・地域統合大臣及び政府・治安関係者(ANR, DGM 等)は会合を行い、席上シェ・オキトウンドウ外相は、選挙では投票機器(machine a voter)を用いると表明した。

・5日、SADC-SEAC は独立国家選挙委員会(CENI)との会合の席上、投票機器は投票時間の短縮に役立つとし、同機器使用への支持を表明した。また、12月12日までには、SADC の大型選挙監視団がコンゴ(民)に到着すると述べた。

・10日、SADC-SEAC はカビラ大統領と会談を行った。

### (3) 野党の動向

#### ア 野党党首及び一部大統領選挙立候補者の声明

・7日、複数の野党党首及び大統領選挙立候補者は、「プロパガンダのために国家の財産、財政、人材を使っている」とし、大統領選挙からのラマザニ・シャダリ PPRD 常任書記の排除を要求し、司法に付すべきとの声明を発表した。また同声明で、カビラ大統領の後継者である「ラ」常任書記の、選挙キャンペーンの前倒しでの開始を非難した(7日付 RFI)。

#### イ コフィ・アナン財団の調停による「ジュネーブ合意」署名と2党首の脱退

・9日-11日、コフィ・アナン財団のアラン・ドス理事長(当館注:元 MONUC(MONUSCO の前身)代表)の調停のもと、ジュネーブで行われたコンゴ(民)の主要野党7党首の会合で、マルタン・ファユル ECiDe 党首を野党統一候補に選出する等の「ジュネーブ合意」が署名された(11日付 RFI)。

・12日、カブンド UDPS 幹事長は、ファユル ECiDe 党首の統一候補指名に反対し、フェリックス・チセケディ UDPS 党首に対し、「ジュネーブ合意」から脱退するか否か、48時間以内の決断を求めた(12日付 AFP)。

・12日、フェリックス・チセケディ UDPS 党首及びカメレ UNC 党首は、「ジュネーブ合意」の署名を撤回すると発表した。ファユル統一候補への支持も撤回した。

・15日、ベンバ MLC 党首、カトウンビ「Ensemble」代表、ムジト「Nouvel Elan」代表、マトウングル CNB 党首及びファユル ECiDe 党首の野党5党首はブリュッセルで会合を行い、フェリックス・チセケディ UDPS 党首とカメレ UNC 党首に対し、「常に野党の統一を望んできた国民の意思に沿い、正気に戻るよう」呼びかけた。

・21日午前、ファユル ECiDe 党首は、エチオピア航空でキンシャサのンジリ国際空港に到着し、空港周辺では多くの支持者が出迎えた。

#### ウ UDPS と UNC の野党統一候補

・23日、フェリックス・チセケディ UDPS 党首とカメレ UNC 党首はナイロビのホテルで記者会見を行い、カメレ党首は、今回の大統領選挙でフェリックス・チセケディ候補を支持するため、自身の立候補を取り下げる決定をしたと発表した。両者が署名した合意書では他に、新たなプラットフォーム「CAP POUR LE CHANGEMENT(変化への方向)」の設立、カメレ党首が選挙対策本部長を務めること、及び、5年後の選挙ではカメレ党首を統一候補とすること等が合意された。

・27日、フェリックス・チセケディ UDPS 党首とカメレ UNC 党首は、正午着のエチオピア航空でキンシャサのンジリ国際空港に到着し、空港周辺では数万人の支持者が出迎えた。両党首の車列を通すため、治安当局が催涙ガス弾を利用する場面もみられた(27日付 AFP)。

## 2. 外交

### (1) AU 代表団のコンゴ(民)訪問

・10日、チェルギ・アフリカ連合平和安全保障委員を団長とする AU 代表団は、コンゴ(民)の選挙プロセスに関し、カビラ大統領と協議した。

## (2)米國務次官補のコンゴ(民)訪問

・28日、フィッツシモンズ米國務次官補(アフリカ担当)がコンゴ(民)を訪問し、同日、シェ・オキトゥンドゥ外相と選挙プロセス及びテロ対策について協議した。

## 3. 東部及び大湖地域情勢

### (1)北キブ州ベニ情勢

・2日深夜、ベニ市で、マイマイ(自警団的な性格をもった武装集団)が仲間を解放するため同市の軍事法廷本部を襲撃し、数名のマイマイ民兵が脱獄した(3日付 AFP)

・4日、ベニ地区のマンボコ(Mangboko)とオイチャ(Oicha)で、ADF(民主同盟軍、ウガンダ系反政府武装勢力)が襲撃を行い、マンボコでは市民7名を殺害、オイチャでは1名を殺害し、15名を誘拐した(4日付 AFP)。

・10日深夜から11日にかけて、ベニ地区の2か所で、ADF によるとみられる攻撃が発生し、市民6名が殺害された(11日付 AFP)。

・9日、コミン MONUSCO 軍副司令官は、ベニ地区マヤンゴセ(Mayangose、ベニ市の北東9キロ)で、13日から、コンゴ(民)国軍(FARDC)との対 ADF 合同作戦を行っていると発表した。合同作戦に参加しているのは MONUSCO の早期展開部隊(bataillons d'intervention rapide)で、ADF の陣地に対し、ヘリコプターによる空からの攻撃を行い、地上の部隊を支援した(14日付 AFP)。

・15日、国連はコミュニケで、マヤンゴセでの MONUSCO と FARDC の合同軍事作戦で、14日、ベニ地区キディディウエ(Kididiwe、ベニ市の北東20キロ)を掌握したが、8名の PKO 兵士(マラウイ国籍7名、タンザニア国籍1名)が死亡、12名が負傷、また、FARDC 兵士12名も死亡したと発表した(16日付 AFP)(その後の MONUSCO 発表によると、PKO 兵士7名死亡、13名負傷、2名行方不明(12月5日付 AFP))。

・22日、コミン MONUSCO 軍副司令官は、FARDC との対 ADF 作戦で、ADF の銃撃が MONUSCO のヘリコプターに命中したと発表した。負傷者等は発生していない(22日付 AFP)。

・26日深夜、ADF は、ベニ地区のオイチャで襲撃を行い、6名の市民と ADF の民兵1名が死亡した(27日付 AFP)。

### (2)イツリ州アルベール湖周辺情勢

#### ア アルベール湖周辺でウガンダ人漁師7名が殺害

・18日、ウガンダ警察は、アルベール湖(当館注:イツリ州とウガンダに接する)で、ウガンダ人漁師7名が、コンゴ(民)の武装勢力とみられる集団から銃撃を受けて死亡し、数名が負傷したと発表した。これら漁師は、前週に、同じ集団によって殺害された仲間の遺体を捜索していた(18日付 AFP)。

#### イ 武装勢力との交戦で FARDC 兵士3名が死亡

・30日、地元及び軍関係者は、アルベール湖周辺における武装勢力との交戦で、FARDC 側の兵士3名が死亡したと発表した(30日付 AFP)。

### (3)ヴィルンガ国立公園でレンジャー1名と市民2名が殺害

・29日、コンゴ(民)自然保護団体(ICCN)はコミュニケで、28日午前、ヴィシュンビ(Vitshumbi、ゴマ市の北約100キロ)で行われた武装勢力の襲撃により、公園のレンジャー1名及び市民2名が死亡したと発表した。他方、ヴィシュンビの住民は、ICCN への抗議に訪れた住民に対し、ICCN 側が銃撃を加えたと非難している(29日付 AFP)。

#### **(4)元 FDLR(ルワンダのフツ族系反政府武装勢力)兵士のルワンダ送還が完了**

・30日、コンゴ(民)政府は、4年間にわたり、コンゴ(民)東部で MONUSCO による DDR プログラムをうけていた元 FDLR 兵士516名とその家族1093名(夫人228名、子ども865名)のルワンダ送還が完了したと発表した。同時に、コンゴ(民)政府による DDR をうけた237名の元 FDLR 兵士も送還された(30日付 AFP)。

#### **4. その他地域情勢**

##### **(1)カムウィナ・ンサブを標榜する民兵への軍事作戦で17名が死亡(中央カサイ州)**

・8日、地元当局者が AFP に伝えたところ、中央カサイ州ルエボ地区で、森に集結していた約60名の民兵に対する軍事作戦が行われ、民兵17名の死亡が確認された。これら民兵はカムウィナ・ンサブ(注:2016年8月に治安当局との衝突で死亡した伝統的首長(chef coutumier))を標榜するカワイ・デワヨが率いており、デワヨとその妻は見つかっていないが、3歳の子どもと他の民兵は捕捉された(8日付 AFP)。

#### **5. その他**

##### **(1)バチカンがアンボンゴ新キンシャサ大司教を任命**

・1日、バチカンは、11年間キンシャサ大司教を務めたモンセングオ枢機卿に代わり、アンボンゴ大司教(Mgr Fridolin AMBONGO)を新たなキンシャサ大司教に任命すると発表した。  
・25日、アンボンゴ大司教がキンシャサ市のマルティール・スタジアムで初のミサを行い、モンセングオ枢機卿、チバラ首相、ミナク国民議会議長、ケンゴ上院議長、ラマザニ・シャダリ PPRD 常任書記(与党大統領候補)、ファユル EGiDe 党首(一部野党プラットフォームによる大統領候補)等も参列した。

##### **(2)ラクロワ国連 PKO 局長のコンゴ(民)訪問**

・5日-7日、ラクロワ国連 PKO 局長は、WHO のアダノム代表とともに、エボラ出血熱対策のため、コンゴ(民)を訪れた。

##### **(3)インド大使とアタマ国防大臣の会談**

・5日、当地インド大使とアタマ国防大臣は、インドによる軍事協力強化の可能性について協議した。またインド大使は、来年2月にインドで開催される宇宙展にアタマ大臣を招待した(6日付 ACP)。

##### **(4)米大湖地域特使の指名**

・9日、米務省は、ピーター・パンを大湖地域特使に指名した(Dr. Peter PHAM, Special Envoy for the Great Lakes Region of Africa)。同特使はこれまで、米シンクタンク「大西洋評議会(アトランティック・カウンシル(AC)、本部:ワシントン DC)」のアフリカ部長を務めていた。

##### **(5)キンシャサ大学で学生2名が死亡**

・12日、教員のストライキに抗議した学生と治安当局の衝突で、学生1名が負傷し、15日に同学生は死亡した。  
・15日、学生1名が死亡したことに抗議するため集まった学生を治安当局が制圧し、新たに学生1名が死亡した。(16日付 RFI)。

##### **(6)米国関連施設に対するテロの可能性に関する情報**

・24日、当地米大使館は、キンシャサにおける、同国関連施設に対するテロの可能性に関する信頼でき、かつ具体的な情報を入手したと発表、26日以降、大使館の窓口業務を閉鎖した(当館注:その後同大使館は12月4日から再開した)。

・26日、メンデ政府報道官は、テロの脅威に関する米の警報を、「選挙を目前にし、コンゴ(民)人に対し、不必要かつ不確実な強迫観念を植えつけるため」であるとし、信用しないよう求めた(26日付 AFP)。

・30日、シエ・オキトゥンドゥ副首相兼外務・地域統合相は記者会見で、今回の米に対するテロ情報に関し、「米とコンゴ(民)にとり深刻な脅威である」と語った(30日付 AFP)。

#### **(7)ハッカー集団による省庁 HP への攻撃**

・25日、ハッカー集団「Anonymous」は、コンゴ(民)省庁等の HP への攻撃を行い、外務省をはじめとする、いくつかの省庁及び GENI の HP が表示されなくなった。